



第 32 号令和 2 年 3 月発行
社会福祉法人 ^{恩賜} 財団 済生会
宮城県済生乳児院
仙台市宮城野区東仙台 6 丁目 1-1
TEL 022[299]0825

ご挨拶



<https://miyagi-saiseikai.com/nyujiin/>

宮城県済生会乳児院長 遠藤 清之

皆さま、こんにちは。

今年度も残すところあと1ヶ月弱となりました。年度末様々お忙しいかと思えます。今年度は、私も初めての乳児院勤務ということで、手探り状態で4月から過ごしてきました。その中で先輩施設長の皆様には様々なご教示をいただき、当乳児院の在り様についても考えることができました。感謝申し上げます。

さて、今年の冬は、年が明けてから「仙台は寒さ本番」と思いきやなんとも全国的な暖冬となっており、そのうち花粉も飛散する時期となってしまいました。また、2月には新型コロナウイルス感染の広がりニュースが連日放送されており、手前勝手に仙台には来ないでくれと願ったりもしておりますが、一刻も早い鎮静化が望まれます。

暖冬といえば、仙台にはまとまった雪が降ったのは本当に数えるほどしかなく、いつもは、子どもたちが院庭で雪遊びするのですが、それもほとんどできなかつたようです。それでも、子どもたちは、外へ出るのが好きで、晴れた冬の暖かい日には、近くの公園に散歩等で出かけております。幸い、インフルエンザに罹患する子ども職員も少なく、この冬は穏やかに、元気に過ごすことができました。

そして、いよいよこの年度末に向けて、ここを巣立つ用意をしている子どもたちもおります。2歳から5歳の小さな子どもたちが、次の幸せを求めて。

我々も、しっかりと準備を手伝い、幸せへの願いを込めて送り出してあげたいと思っております。

I 理念

済生会創設の精神のもとに、児童を取り巻く社会情勢の変化に柔軟に対応し、子どもが大人に守られ、大切にされ、安心して生活できる開かれた安全な養育環境を整え、入所児童の生命と人権を守り、健やかな成長を支援する。

II 基本方針

【保育目標】 素直で、明るく、優しい、健康な子の育成

- ・子どもの個性を尊重し、その人権を守り、最善の利益を追求します。
- ・子どもの発達段階に応じた生活習慣等の確立を支援します。
- ・子どもとの愛着関係を育み、豊かな感性を育てます。
- ・子どもの気持ちをくみ取り、また意見を聞きながら自立を支援します。
- ・子どもの成長を喜び、再出発(家族再統合、里親養育等)を支援します。
- ・職員は、子どもとの関係性を常に重視し、向上心、探求心を持ち、柔軟に子どもたちを支援します。



子ども達にとってちょっと怖い節分。鬼に負けない元気な声で“鬼のパンツ”の歌が聞こえてきました。節分当日は、鬼の絵本を見た後、元気に歌を歌い、鬼ゴルフや鬼ロボットで遊びました。楽しく遊んでいると外と中から鬼が登場！！恐くて泣いちゃったけれど、最後は鬼からお菓子をもらい、ギュッとハグすることも出来ました。鬼と仲直りし、子ども達は今年一年元気に過ごせそうです。

吉田 佳奈



ひなまつり

令和2年3月3日、晴天。令和元年は5月からだったので、今年が令和初のおひなまつりとなりました。ひまわり、ちゅうりっぷ、さくら組で、ひなあられを入れるお菓子箱を一人一つずつ作りました。牛乳パックを再利用し、年長さんはシールを貼り、年少さんはスタンプを押しました。ひなあられを食べた後は、お内裏様とお雛様の顔出しパネルで今日の良き日の記念撮影をしました。爽やかな春の陽の射すおひなまつりとなりました。

平 恵子



あかりをつけましょ
ぼんぼりに～♪



クラスだより～今年度を振り返って～

たんぽぽ組

寝返り、べた這い、四つ這い、つかまり立ちなど、たくさんの成長を見せて毎日のように大人を喜ばせてくれた乳児クラスのたんぽぽ組さん♡新しい年には小さなお友だちが仲間に加わり、小さいながらもたくさん声を出して大人に話しかけたり、あやしかけににっこりと笑う姿を見ると、可愛らしくてその場を離れられなくなります。4月以降には1歳児クラスへ進級する子もいるので、これからも皆で仲良く、楽しく、毎日笑って過ごし、たんぽぽ組での思い出を作っていきたいと思います。

さくら組

私の心に残る言葉として「朝は希望で起き昼は努力し、夜は感謝で眠る」というものがあります。朝はワクワクして新たな一日を迎えられているか、昼はしっかり努力して働いているか、そして夜に今日の出来事に感謝して眠れているか、どんな毎日にもささやかな希望や感謝することがあり、何気ない日常がとても愛おしくありがたいものだとは再確認できる。日頃出会った心温まる出来事、子どもたちの生き生きとした姿に感動しほのぼのとした心の輪をこれからも広げることができるといいなあと思います。

ちゅうりっぷ組

今年度を振り返ると、いろんな所でとても成長したちゅうりっぷ組の子どもたち。3歳児中心のクラスとなり、その子どもたちがリードクラスを盛り立ててくれました。身の回りの事が一人で出来るようになり、お喋りも上手になりました。それにつられ、2歳児も出来ることが増えました。これから、それぞれ別々の場所での生活となる子が多いけれど、明るく優しく健康に成長して行って欲しいと思います。

ひまわり組

パワフルな女の子とマイペースな男の子が集まったひまわり組。毎日のようにケンカを繰り広げながらこの1年で大きく成長しました。お人形遊びの延長から小さい子に優しく接したり、お喋りが上手になったり。「もう遊ばない！」とプリプリ言った数秒後には「おいで～」と集まり遊ぶ姿には思わず笑ってしまいます。楽しいことも、いたずらも、いつも一緒。なんだかんだ仲良しな子ども達でした。これからも更にパワーアップすることでしょう！

～編集後記～

今年度も年4回の広報紙“まんまる”を無事発行することができました。春は、大きく成長した年長の子ども達が新たな環境へと旅立ち少し寂しくなりますが、これからの一年で大きく成長するであろう子ども達の姿を楽しみにしたいと思います。来年度も可愛い子ども達の様子をお届けいたします。

心温かいご寄付をお寄せ下さいました、佐藤皇季様、小野未優梨様、大滝善二様、西郡光昭様、山下圭様、山田淑子様、鈴木裕子様、今野道幸様、ありがとうございました。